

企業が求める人「財」

自分で考え、挑戦し、 目標達成に向けて協働できる人

【目標のブレイクダウン】
会社 > 部署 > グループ > 個人



「わたしは何をすべきか？」
「いつまで達成しなければならないのか？」
目標の達成のために、**主体的に且つ周り**と協
力して行動しよう。

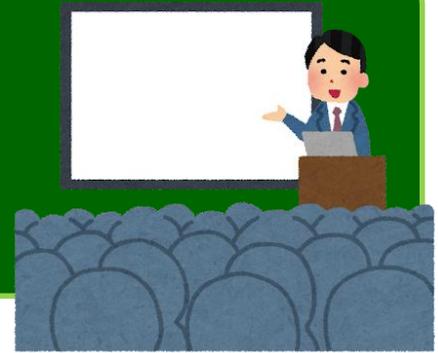
目標を持って学び続けられる人



技術・知識は、その瞬間から古くなっていきます。常にアンテナを高く張り、自ら新しい技術・スキルを継続的に身につけよう。



長く勤められる人



新入社員が一人前になって、利益を生み出すことができるようになるまでは、企業はみなさんに投資することになります。

入社後のアンマッチで離職につながらないよう、エントリーの前に、会社のことを調べよう。

心身共に健康な人



企業にとって“**人は財産**”です！

自分に最も適したストレス対処法を知っておこう。

コミュニケーション能力を持った人

働いていると、社内外で、いろいろな人(同僚、先輩、お客様)と話をする機会がたくさんあります。

「対話力」を身につけよう。



入社志望(候補)の企業のことをよく調べる

- ・会社説明会や会社見学(工場見学)に行き、不明点はその会社の人事担当者に遠慮なく、積極的に質問する。(OB/OGを頼ってもOK)
- ・業務内容も重要だが、勤務地、給与・賞与、昇格、福利厚生も忘れずに。

入社志望の理由を明確にしておく

- ・なぜその企業の入社したいと思ったのか。
- ・入社したら具体的にどんな仕事に就きたいのか。

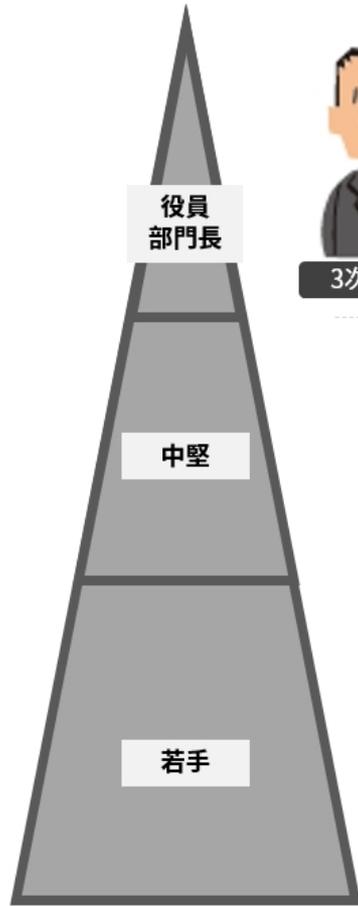
効果的に自分をアピールする

- ・学生時代に学んできたこと
- ・得意なこと(不得意なこと)
- ・何か取り組むにあたって工夫した点はどんなところか。
※苦労した点については、どんな風にして乗り越えた、もしくはその時は乗り越えられなくても、そこから得たものは何か。
(・自分を採用すると会社にとってどんなメリットがあるのか。) etc.

各面接官の興味（若手社員採用の場合）

面接官の役職

面接官の興味



3次面接官



2次面接官



1次面接官

入社候補者の個人の夢と
会社の目指す方向は
合致しているか

長期にわたり在職し
会社に貢献してくれるか

必要な専門スキルを
持っているか

欠けているスキルを
学ぶ意気込みや
素養があるか

面接官自身の
部下になったとき
活躍してくれそうか

一緒に働きたいか

会社の文化に
なじめそうか

基礎的なビジネススキル
を持っているか

日経XTECH
「できるエンジニアの論理的思考法」（小早川 鳳明寄稿）より引用